

講義コード	1034	科目区分	基礎教育科目（基礎）
（フリガナ）	キソゼミサン	（フリガナ）	イ ムンサン、カネコトシカズ、フクハラヨシナオ
授業科目名	基礎ゼミⅢ（ビジネス文化専攻）	担当教員名	李 文相、金子壽一、福原慶尚
英文授業科目名	SEMINAR(BasicⅢ)		
基準年次（開講期）	2年次（前期）	履修形態	必修
曜日/時限/講義室	金曜日/1時限		
授業の方法	演習	授業の方法 （詳細情報）	
単位	1	週時間	2
授業のキーワード	インフォメーション・コミュニケーション・プレゼンテーション		
授業概要・目的			
到達度評価の 評価項目	<p>到達度評価項目は次の三つです。</p> <p>1) コミュニケーションのスキルアップとして、「聞く」「読む」「書く」の三つの基礎と実践力。</p> <p>2) 毎回受講生全員が「3文間スピーチ」にチャレンジする姿勢。</p> <p>3) プレゼンテーションの三つのメッセージ（ストーリーメッセージ、ビジュアルメッセージ・フィジカルメッセージ）の習熟度。</p>		
授業計画			
第1回	オリエンテーション シラバスの配布、授業の概要・進め方・教材・発表当番などを中心に案内。		
第2回	聞く力（その1） 話を聞くということ。		
第3回	聞く力（その2） ノートの取り方。		
第4回	聞く力（その3） 大学教員とのコミュニケーション		
第5回	読む力（その1） 学術的文章とクリティカルシンキング		
第6回	読む力（その2）		
第7回	読む力（その3） クリティカルシンキングによる精読		
第8回	読む力（その4） その他の読み方		
第9回	読む力（その5） 知識が増える喜びを知る。		
第10回	書く力（その1） 大学で求められるレポートや論文とは？		
第11回	書く力（その2） グラフ作成について学ぶ。		
第12回	書く力（その3） 調べたデータをグラフ化する。		
第13回	書く力（その4） 調べたデータをグラフ化する。		
第14回	書く力（その5） プレゼンテーションの力をつけるための基本。		
第15回	授業のまとめ 発表会。まとめ。		
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山田剛史ほか『大学生のためのリテラシー入門』2012、ミネルヴァ書房</li> <li>・松野 弘『大学生のための「社会常識」講座』、2011、ミネルヴァ書房</li> </ul>		
授業で使用する 機器等			
予習・復習への アドバイス	学内・外での行事やイベントには社会貢献の視点から、積極的に参加する。		
履修上の注意・ 受講条件等	毎回の出席が前提なので、5回以上欠席（公欠を含む）した場合は単位を認定しない。なお、遅刻（20分以内）は2回で1回の欠席扱いとする。		
成績評価の基準等	以下の観点から総合評価する。 1) 授業に取り組む姿勢（30/100） 2) 提出物の評価（40/100） 3) 発表力（30/100）		
メッセージ	「話すこと」の苦手意識を払拭しよう！毎回行う身にスピーチでコツと自信を！		
オフィス・アワー			
その他			